

やまがた 商工連

318

October 2014

発行 山形県商工会連合会
会長 小野木 覺

〒990-8580 山形市城南町1-1-1

霞城セントラル14F TEL050-3540-7211

URL <http://www.shokokai-yamagata.or.jp>

● contents ●

- ・創業塾2014開催 2
- ・ランチde商談&
おいしさいっぱい山形フェアを開催 3
- ・元気な企業 4
- ・商工会の事業紹介「月山・新八方十口プロジェクト」... 5
- ・青年部・女性部コーナー 6
- ・県内統一景況調査報告 8



月山・新八方十口プロジェクト／出羽商工会観光力研究会)

8月31日(日)に開催された「月山聖地巡礼ノ旅」ツアーの様子。(プロジェクトの詳細は4ページにて)

創業塾2014開催

平成11年より16年連続開催！
900名を超える受講者が卒業!!!

平成26年7月26日(土)・27日(日)・8月2日(土)・3日(日)・10日(日)の5日間に渡り創業塾2014を開催いたしました。講師にはジャイロ総合コンサルタントの大木博史社長、渋谷雄大セミナー事業部長、大塚直義コンサルタント、稲垣桃子コンサルタントを招聘し指導いただきました。受講者は「失敗しない創業のコツとツボ」「10年後生き残る為のビジネスモデルのつくり方」「次々と顧客が増える仕組み作りを考えるマーケティング戦略」「最新のWEB・IT・SNSを学び顧客獲得をすすめよう」など5日間で合計30時間の短期集中プログラムに臨み自分の夢の達成に向け熱心に知識の習得を図りました。特に初日は創業塾OB・OG4名と講師の対談形式により、それぞれの創業体験を語っていただきました。先輩創業者の生の声を聞くことが出来ることとあって、受講者からは次々と質問があり会場は熱気に包まれました。さ



らに、最終日の個別相談では、希望者が自分のビジネスプランについて講師よりアドバイスを受けました。創業塾2014の受講申込は当初の予定定員を大幅に上回る62名(内女性30名)で、そのうち5日間皆出席の24名には修了証をお渡しし盛会裏に終了いたしました。創業希望内容につきましてはカウセラーやコンサルタント、飲食店、食品製造販売、家具製造、デザイン、介護サービス、6次化産業関連など様々な事業形態があり、今後とも継続支援を図って参ります。また、受講者の4名の方が「やまがたチャレンジ創業応援事業助成金」への申請を行い、ビジネスプランの審査の結果、全員の創業助成金採択が決定されました。

小規模事業者持続化補助金採択者の声

川西町商工会会員 陽(ひなた) cafe

女子屋

国の25年度補正予算で、小規模事業者が商工会等と一体となつて、販路開拓に取り組み費用の3分の2(上限50万円)を補助する「小規模事業者持続化補助金」が創設されました。県内商工会地区では、246件が採択されています。

今回、採択者の声として、川西町の飲食店・陽cafeをご紹介します。当店は元々「亥子屋」という酒屋で、後継者の高橋陽一さんは、以前からカフェ事業を構想していたのですが、なかなか決断できませんでした。そんな中、この制度を知り、応募して採択され、実行に移しました。「地元農産品を使用したランチ&スイーツカフェ事業」として、調理器

具を購入し、店舗内をカフェ用に改装したのです。

高橋さんは、「長年の夢が叶いとても嬉しいです。この制度により経済的な負担が大幅に軽減し、大変助かりました。」と語っています。

6月30日にオープンし、既に大きな反響を呼んでいます。特に若い女性客に人気があり、マスコミからも注目されています。

主なメニューは、パスタ、ピザ、クレームブリュレなどのスイーツで、川西町産の食材をふんだんに使い「地産地消」にこだわっています。店内は、至る所に洋風の趣向が凝らされ、お洒落な雰囲気にも包まれています。



店主の高橋陽一さん



当店自慢の「濃厚クレームブリュレ」

住所 ■ 川西町中小松 2862
TEL ■ 050-7510-2526
営業時間 ■ 11:00 ~ 16:00
定休日 ■ 水曜日

ランチde商談!! & おいしさいっぱい 山形フェアを開催!!

地域力活用市場獲得支援事業（国の平成25年度補正予算額162億円）の一環である地域振興等機関主催広域展示販売・商談会事業予算を昨年から引き続き獲得し、東京駅構内「びゅうスクエアお祭りストリート」での商品販売及び商品力向上・販路開拓支援を展開いたしました。県内事業者より多数の申し込みを得て、バイヤー、ホテル関係者、食の専門家等による審査によって選出された事業者より臨んでいただきました。

【ランチde商談】 9月11日

ホテルメトロポリタンエドモンド
（東京都千代田区飯田橋）

本年は各社による商品プレゼンテーション（3分間）の実施及び各社ブース設置による個別商談と全体交流を組合せた3部制で事業を行いました。新たな取組みとして、プレゼンテーションの際に試食の機会を設けたことで、バイヤーは商品の理解度をより高めた上で商談に臨むことができ非常に有効な展開となりました。また、和心の料理研究家石川昭子氏によるエントリ商品食べ方の提案が行われ、首都圏での販路開拓の一助となりました。

・ 来場バイヤー等数 22社25名

【PR販売】 9月12日～9月14日

JR東京駅構内地下1階 グラスタ
横びゅうスクエア「お祭りストリート」
山形県内で愛されている商品を



【モニター調査】

各社が消費者と直に接することにより、おいさと安全を提供、首都圏ニーズを掴むとともに商品のPRの一助となりました。また、会場内の来場者回遊促進の為にスタンプラリーを実施、多くの出展者ブースを見ていただくことで山形の食文化を肌で感じる場の創出となりました。

東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県

20～59歳男女 230名

8月8日～9月8日にかけて山形県の地域産品に対する評価を得るため首都圏の主婦層を中心に調査を行いました。これにより自社商品のポジションを認知し改良改善また新規に商品を開発する上での情報と消費者ニーズを把握する資料として有効なものとなりました。

～やまがた家 売上ベスト10～

順位	商品名
1	くるみゆべし
2	さくらんぼの酒
3	おしどりミルクケーキ さくらんぼ
4	なっとう昆布
5	だだちゃ豆チップス
6	しょうゆの実
7	サクランボ
8	山形旬香菓（ゼリー）
9	NANJO da BE（菓子）
10	味付け卵 スグ卵



やまがた家

◆店長のおすすめ!◆

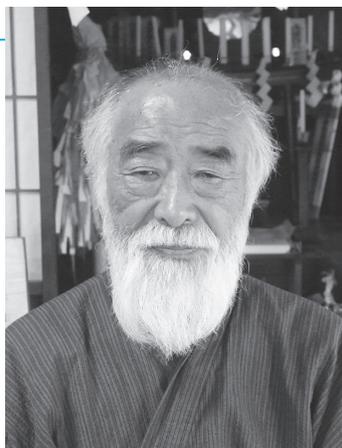
観光パンフレットも充実しています!

「美味発信 やまがた家」は観光コーナーも充実しています。旅行会社などにはない、その土地が作成したパンフレットを置いています。山形に旅行に行く前に、ちょっと下調べにお寄りいただくのもよしですね!



月山の魅力を再構築し、地域に活力を

月山新八方十口プロジェクト（出羽商工会観光力研究会）



出羽商工会観光力研究会
会長 星野 文紘さん



月山周辺のパワースポットや飲食店などを
まとめたパンフレット「月山聖地巡礼の旅」

西に湯殿山、北に羽黒山を従えた出羽三山の主峰であり、修験者の山岳信仰の山として知られる月山。古くは八方七口といわれた出羽三山への登山口でしたが、新たに三口加えた十口で、各登拜口が連携して月山の魅力を再整備し、発信する「月山・新八方十口プロジェクト」。今回は主催する出羽商工会観光力研究会の会長である星野文紘さんにお話を伺いました。

◆地域の壁を越えて、事業を展開

「月山・新八方十口プロジェクト」のはじまりは、出羽商工会観光力研究会が発足した平成22年に遡ります。出羽商工会観光力研究会は『人と歴史と自然が調和する、住む人の誇りになる地域づくりを目指す』を事業コンセプトとして、『出羽商工会管内の、鶴岡市羽黒・櫛引・朝日地区の方々が集まって結成されました。研究会発足にあたって、お互いの地域に共通する観光資源を考えたときに、自ずと月山が浮かんで来たといえます。「月山は山形の中心にあり、それぞれの地域の文化にも密接な関わりをもっています。月山の登山口という共通項で結びつけることで、地域を越えたスケールの大きい事業ができる可能性を秘めています」胸が膨らむ一方で、「研究会だけでは到底収まらなくなる」と感じたといいます。

プロジェクトを立ち上げてすぐに関係地域の首長を集めてサミットを開催し、協力関係を築き上げました。現在は5つの市町村と6つの観光協会と連携し事業を行っています。現在、同プロジェクトは3つの事業を軸としています。今まではあまり知られていなかった月山周辺の神社などを聖地として、宿泊施設、飲食店などの情報も載せたパンフレット「月山聖地巡礼の旅」を作成する『月山新パワースポットMAP作成事業』。月山周辺の農作物を「月山野菜」と称し、新しいブランド価値を創造する『月山野菜ブランドデザイン事業』。各地域が有するパワースポットを巡る『月山ツアー事業』です。

◆「日常」を観光資源に

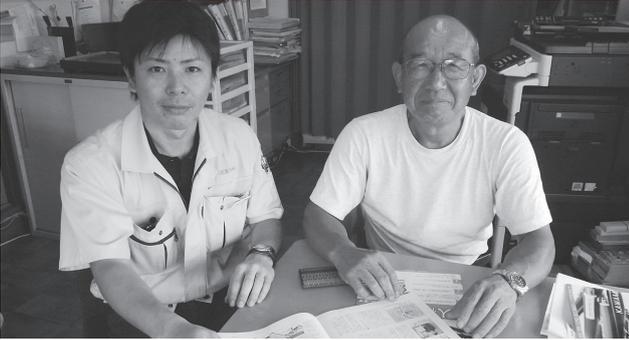
観光において大切なことを尋ねると、『日常』という言葉がかえってきました。「観光は非日常を体験するものですが、都会の方にとって田舎の日常は非日常であり、それ自体が立派な観光資源になるのではないのでしょうか。物質的な豊かさから精神的な豊かさへと価値観がシフトしてきている現代において、そうした日常の空間を楽しむ滞在型の観光がこれから更に注目されると思います。背伸びして特別なことをするのはなく、まずは地域で暮らす人々が日常を楽しむこと、観光においてはそれが最も大切であると考えています」と星野会長は語ります。同プロジェクトが精力的に活動している原動力も、地域に誇りを持ちながら日常をおくりたいという自身の想いであるといいます。

◆時間をかけて、じわっと浸透

同プロジェクトは、一過性のものでなくじっくりと時間をかけて浸透させていきたいといいます。現在は雑誌からの掲載依頼が来るなど、着実に広がりを見せています。「スタートから5年目を迎え、みなさんに浸透しつつある時期だと感じています。これから更におもしろくなってきますよ」星野会長は目を輝かせながら語りました。

株式会社 川前製作所

白鷹町商工会



レーザーマーキング部
小松 正和さん

代表取締役社長
佐藤 喜久雄さん

今回、紹介する元気な企業は白鷹町の株式会社川前製作所です。金型製作から、成形加工・部品の組立・印字加工までの一貫生産を強みとし、昨年の10月に県より経営革新計画の承認を受けた同社の取り組みについて伺いました。

自慢のレーザー技術で、全国へ発信！

●異分野への取り組み

「製造業は下請けで終わってはいけません。自社の商品を持つことが大切」そう佐藤社長は語ります。川前製作所は昭和53年に創業し、長年プラスチック成形部品製造を営んでいましたが、平成19年よりレーザーマーキング加工をはじめ現在の体制となつていきます。レーザーマーキング加工を始めたのも、プラスチック成形部門で作った自社の製品にレーザー加工をすることで製品化するという社長のコンセプトによるものでした。

●自社製品の開発

同社が平成25年より販売を開始し、好評を得ているのが「名入れペン」です。名入れペンとは、レーザーマーキング加工によりシャープペンやボールペンに好きな文字を印字した商品です。元々、製造部門で文房具メーカーとの取引関係にあったことでアイデアがひらめいたといえます。同様の商品を取り扱う企業は存在し



レーザーマーキング加工の作業場の様子。左奥がレーザー機械。パソコンで入力情報を指示します。



同社が売り出す「名入れペン」。現在はオンラインストアで注文を受け付けています。

ますが、印刷よりも消えにくく長持ちするレーザーマーキング加工を施していること、一本単位から注文を受け付けることで高品質な商品を個人のお客様が気軽に利用できるという点で差別化を図っています。インターネットでの販売が主ですが北海道から沖縄まで全国各地から注文をうけ、販売を開始した昨年1年間で2000本ほどを売り上げたといえます。

●技術を広く知ってもらいたい

同社のレーザーマーキング技術の特徴は、球体やくぼみなどのあらゆる形状に対してコンマ2ミリほどの印字が可能であること、また、透明なもの透過して印字することが可能であることがあげられます。そうした技術を用いて、名入れペンだけでなく、ホテル、旅館向けにビニールに覆われた状態からお客様の名前を印字する、衛生面にも配慮したアメニティグッズなど、精力的に商品の提案を行っています。

●今後の展開について

しかし、そうした技術もまだ認知度は低いといえます。そのため、同社では企業向けはもちろん個人のお客様に参加する産業フェアなどのイベントにレーザー機械を持ち込んで、実演を行うことで技術の普及に努めています。「直接技術を見せることで、非常に興味を持ってもらえることを実感しています。またレーザーマーキングをきっかけに自社を知ってもらい、製造部門で発注を受けるなど相乗効果が生まれています」と小松さん。

今年9月より、オンラインストアが稼働し、更なる名入れペンの販売促進を目指すといえます。また、現在是对応していない、ガラスやゴムなど難マーキング材へのレーザーマーキング加工を実現するため、新たなレーザー機械の導入を計画しているといえます。

創意工夫に満ちあふれた佐藤社長は、「これからも白鷹町から全国に発信していきます。自社のお客様は1億人です」と力強く語りました。

住所 ■ 白鷹町深山 1009-4
TEL ■ 0238-85-0667
HP ■ <http://www9.plala.or.jp/kawamae/>

青年部・女性部活動コーナー

青年部・女性部主張発表県大会を開催

出羽商工会青年部

佐藤勝則さんが最優秀賞

青年部主張発表県大会は平成26年7月15日、南陽市の熊野大社證誠殿において青年部員研修会の一環として開催され、青年部員など約250名が参加しました。

最優秀賞を受賞した佐藤勝則さん（出羽商工会）は「青年部活動に参加して、く守る心と変える心」と題し、「大山犬まつり」を歴史と伝統を守りながら時代の変化に合わせて変えていく地域振興事業について発表しました。また県代表として、8月29日に秋田市で開催された東北六県・北海道ブロック大会においては、優秀賞を獲得いたしました。



出羽商工会青年部 佐藤勝則氏



全青連 宮本博史会長

全国商工会青年部連合会 会長 宮本博史氏による研修会

引き続き、青年部員研修会に、全青連の宮本博史会長より「地元を愛する青年として残した軌跡」と題し、地元熊本県阿蘇市にて、飲食業を経営され地域おこしを常に考え仕掛けを行っており、近所の事業者を巻き込んで地域全体で売上増加につながるようなイベントを実施されたこと、また、小規模企業振興基本法が制定され、「小規模事業者の持続的発展が位置付けられた意味は大変大きく、我々青年部員にとってもいろんな制度を活用していただきたい、そのために部員一人一人がアンテナを高く

して情報を仕入れていきましょう」と講演いただきました。



企業と従業員とご家族を守る

自動車共済『MAP』

総合火災共済

自動車事故費用共済

山形県火災共済協同組合

〒990-8580
山形市城南町一丁目1番1号 霞城セントラル13階
TEL 023-647-2380(代)・FAX 023-647-2382

青年部・女性部活動コーナー

寒河江市商工会女性部 滝川輝子さんが最優秀賞



東北六県・北海道ブロック大会に出場した山形県代表の寒河江市商工会、滝川輝子さん。惜しくも全国大会出場はなりませんでしたが。

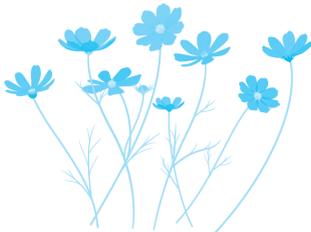
去る6月3日、東根市「たびやかた 嵐湯」において、山形県商工会女性部連合会リーダー研修会、主張発表大会が開催されました。主張発表大会では、各地区代表の4名が、それぞれ日頃の女性部活動や地域振興活動から感じたことなどを発表しました。審査にあたっては、株式会社山形新聞社の山川敏春論説委員長が審査委員長となり、そして他7名の審査委員によって厳正な審査がなされました。その結果、最優秀賞には「女性部活動と地域振興・まちづくり」1300年の誇りを守つたみがき隊」のテーマで主張発表

した村山地区代表、寒河江市商工会の滝川輝子さんが選ばれ、7月に開催される東北六県・北海道ブロック大会に出場することが決まりました。内容は、地元の宝である慈恩寺の清掃活動を女性部活動として取り組んだ経過を中心に、その清掃活動から地域の案内図作成までに発展した『慈恩寺みがき隊』の活動について、滝川さん自身がその活動から感じたことや女性部活動を心から楽しんでいっていることを、ユーモラスを交えて表現力豊かに主張発表されました。また、地元東根市で漬物製造販売を行っている有限会社壽屋寿香蔵、代表の横尾友栄さんによる「私のコミュニケーション論」笑顔の声で」と題した講演がありました。元アナウンサーならではの、コミュニケーションの技やコツについてもわかりやすくお話しただき、すぐに取り入れて実践していきたいものがたくさんありました。

翌日4日には、山形県商工会女性部連合会の平成26年度通常総会が開催され、第14号議案まで全て原案通り可決されました。



横尾友栄氏による講演の様子



西川町商工会女性部
部長 清野 久美子

- ①仙台屋
- ②西川町志津 22
- ③旅館業



中山町商工会女性部
部長 渡辺 光子

- ①丸正わたなべ
- ②中山町長崎 4560-3
- ③化粧品日用品小売業

シリーズ
女性部長
紹介

- ①事業所名
- ②事業所所在地
- ③業種

山形県商工会連合会

商工貯蓄共済

大口新規加入者

還元キャンペーン

キャンペーン期間

平成26年 4月30日～12月31日

※加入申込書受付期間は、平成26年12月17日が期限となります。



山形が誇る
ブランド米

つや姫プレゼント



対象となる方

商工貯蓄共済に新規にご契約（4口以上）いただいた方で、保険会社より保険証券が発行された方が対象となります
※新規加入申込書1契約毎（1枚毎）にプレゼント

プレゼント内容

- ① 1契約10～15口 つや姫 5kg×2袋 もれなく全員にプレゼント!!!
- ② 1契約6～9口 つや姫 5kg×1袋 もれなく全員にプレゼント!!!
- ③ 1契約4～5口 つや姫 5kg×1袋 抽選で4人に1人当たる!

詳しくはお近くの商工会へ

全国商工会経営者休業補償制度

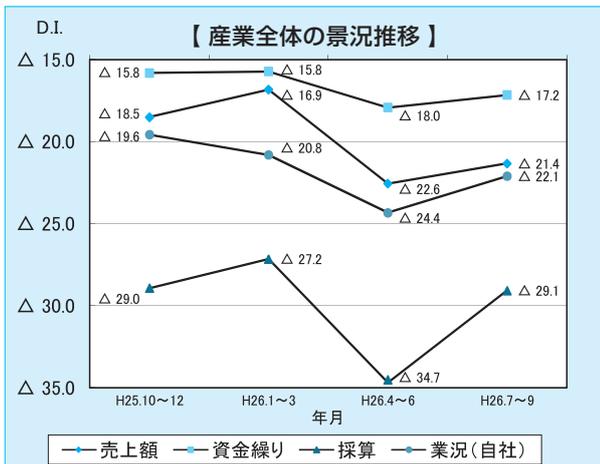
4つのおトク

- その1 全国約100万事業所の会員を擁する商工会だからこそ出来る団体割引率！
保険料割引率が驚きの37%～52%！
*割引率は、引き受け会社によって異なります
*引き受け会社によって保障内容と保険料が若干異なることから、高割引率保険会社が一概に低保険料とは言えません
- その2 ケガも病気による就業不能も両方カバー
- その3 自宅療養のみでもOK！*医師の指示による自宅安静療養をさします
- その4 地震・津波のような天災事故でも、天災補償で安心

詳しくはお近くの商工会へ

県内統一景況調査報告

【平成26年7～9月期】



【調査要領】

調査対象：山形県内24商工会地域の企業（原則として1商工会あたり15企業）
調査時点：平成26年9月1日
調査方法：商工会経営指導員による企業への訪問ヒアリング調査

※D.I.とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、以下により算出しております。

D.I.=【各項目の増加（上昇・好転）企業割合（%）】
－【各項目の減少（低下・悪化）企業割合（%）】

【主要企業の今期の景況】

商工会地区の景況天気図	製造業	建設業	小売業	サービス業
売上額	☔ -11.1	☔ -1.7	☔ -37.1	☔ -35.5
資金繰り	☔ -4.2	☔ -6.6	☔ -30.2	☔ -27.7
採算	☔ -22.9	☔ -13.1	☔ -35.8	☔ -44.6
景況(自社)	☔ -12.9	☔ -5.0	☔ -35.9	☔ -34.7

☔ 快晴: DI値30.1～100.0
 ☔ 晴れ: DI値10.1～30.0
 ☔ 曇り: DI値-9.9～10.0
 ☔ 雨: DI値-29.9～-10.0
 ☔ 雪: DI値-100.0～-30.0